

7月 MKSAP勉強会

症例から学ぶ感染症診療のエッセンス

感染症診療は、ちょっとした所見や判断の違いで大きく方針が変わります。今回のMKSAP勉強会では、日常診療にも直結する2つの症例を通して、診断・感染対策・治療適応の考え方を一緒に学びます。学生さん、研修医の先生方も歓迎です。

7月3日

尿路

術前の無症候性細菌尿、治療すべき？

72歳男性。膀胱癌に対する生検を伴う膀胱鏡検査と、人工股関節全置換術を控えた術前評価で、*Proteus mirabilis*による無症候性細菌尿が見つかりました。糖尿病、腎移植歴、整形外科手術予定——どれが本当に抗菌薬治療の適応になるのでしょうか？ “治療すべき無症候性細菌尿を見極める視点を学びます。

7月17日

発熱・
発疹

東南アジア帰りの発熱・発疹

58歳女性。東南アジアの農村部から帰国後、発熱、鼻汁、そして顔面から体幹へ広がる発疹が出現。小児期のMMRワクチン接種歴は1回のみかもしれません。診断確定を待つ前に、どの感染対策を取るべきか？

こんな方におすすめ

- ・ 感染症に興味のある学生さん
- ・ 初期研修医・専攻医
- ・ 症例ベースで学びたい方
- ・ MKSAPを楽しく学びたい方

お問い合わせ

総合感染症科・感染症医療人育成
センター

kansen@ml.nagasaki-u.ac.jp

※ 詳細はお問い合わせください